

Ⅱ. 日本における「単一民族神話」の歴史的起源と変遷過程(その2) —日本の近代化と「単一民族神話」の形成—

浅野慎一（神戸大学）

【日本の近代化と「単一民族神話」の形成】

明治以後の日本：欧米列強との半植地的な不平等条約、民族の独立を賭けて急速な近代化。

「脱亜入欧、欧米追い付き型」。

- ①殖産興業・富国強兵。国家権力主導、上から強行的に近代化推進・資本主義育成。
- ②欧米列強との国際競争・自由貿易競争。日本国内で植地的な低賃金・長時間労働。
- ③早急な植民地獲得。内国植民地・北海道：アイヌから土地略奪。「琉球処分」。台湾・朝鮮。

日本の「国民・民族（nation）」意識：日本の近代化・資本主義化を支えるイデオロギー

内国・海外植民地の侵略を正当化、欧米列強に対する競争意識・敵愾心を喚起、国民の不満を発散。

「欧米人＝近代化のモデル・ライバル」と「アジア人＝侵略・支配の対象」の差別的政策・視線。

「国民・民族」意識：学校教育・軍隊・国語・国税・政治参加を通して浸透。

概ね明治20年代～30年代に定着。

学校と軍隊（教育と戦争）：国民意識形成の二大手法。

【擬似的血統主義・「家」制度に基づく「単一民族神話」】

日本の特徴＝擬似的な血統主義に基づく「単一民族神話」としての国民意識形成。

明治政府：国民の家族共同体（イエ）を基盤

→江戸時代の武士階級の道徳を注入、天皇制国家への忠誠心を育成。

教育勅語・修身など学校教育→天皇への忠義、親への孝行が道徳の基本。

戸籍制度・民法：戸主を頂点。庇護－奉仕関係に基づく複合大家族を「家」と措定
＝徴税・徴兵など支配機構の最末端単位。

「万世一系」の天皇家＝日本国民の「家」の総本家とするフィクション。

→天皇制国家への奉仕と忠誠の根拠創出。

家族的な庇護－奉仕関係＝「日本古来の美風」。

天皇を総本家とする擬似的血統主義に基づく「単一民族神話」。

BUT 「家」制度＝幕藩体制下の農民の家族共同体（イエ）を基盤。源流：律令制。

イエ＝直系家族形態。農民の生業・生活の基礎単位。

世代を超えて受け継がれる生業・生活の維持・発展の基盤。

農業生産力の発展・生活向上：家父長を含むすべての家族がイエに結集、「勤勉と忍耐」・「和の精神」の発揮で実現。

∴ 日本国民：自らと自己同一化したイエの繁栄を求め、「勤勉と忍耐」・「和の精神」を發揮、

→日本の急速な近代化・資本主義化、日本民族「共同体」への忠誠心の基盤。

明治政府の巧妙さ：天皇家を総本家とする大きなイエとしての「単一民族神話」

& 個々の国民のイエに基づく生業・生活の発展の論理を連鎖。

→イエへの自発的貢献：国家への貢献へと自動的に繋がる回路を構築。

【多民族帝国の「単一民族神話」】

天皇を総本家とするイエ制度としての「単一民族神話」；植民地支配には一定の支障。

植民地・他民族支配の3つの論理・手法。

- ①抹殺・無視、
- ②隔離、
- ③統合・同化（侵略・支配＝文明化・啓蒙。多文化共生）。

日本の植民地支配：3つの論理をすべて駆使。特に③に重点。

日本のイエ制度≠純粋な血縁組織。

イエの本質：世代を超えて受け継がれる生業・生活の維持・発展。

養子：血縁でなくても、イエの先祖は共有。BUT 姓を変え、養家の家風に同化、養家発展に貢献義務。

イエ制度：血統主義：融通のきくフィクション。

∴ 天皇家＝日本国民の総本家。血統でなく、文化的・政治的な帰服。

イエ制度に基づく「単一民族神話」：海外侵略・植民地支配に遺憾なく活用。

戦前日本：「島国・稲作・日本人」ではなく、「アジア諸民族の混血・混合種としての日本人」。

アジア諸民族が差別・排除されず、融合・同化して歴史的に形成。

融合・同化の中心・核：天皇。

∴ 天皇を中心に新たにアジア諸民族を同化することも可能。

「日鮮同祖論」、渡来人・帰化人の役割。天皇家：朝鮮系血統。「内鮮通婚／日満通婚」奨励

日本：「多民族帝国」。

学校：日本の多民族性、西欧の人種差別政策批判（日本の優越性）

疑似的血統主義に基づくアジア・サイズでの「単一民族神話」

民族差別を批判する「良心的」な社会運動家の共犯関係。

少数民族・植民地出身者も、日本国家に貢献可能。

「よき日本人」になろうと努力、日本人側も差別・排除せず寛容に受け入れるべき。

良心的・人道的な活動：結果的に「アジア・サイズの単一民族神話」を強化。

【多民族帝国の「単一民族神話」による二重の差別】

戦前日本の「単一民族神話」：内国植民地・海外植民地の異民族に二重の差別・抑圧。

①天皇家を共通の祖先としない異民族を排除・差別。

「まだ日本人になりきれていない新参の日本人」「できそこないの日本人」

大和民族を永遠に超えられない地位に固定。

②異民族も「単一民族神話」の外延部に包摂、日本民族への同化強制。

固有の民族文化の抹消政策（創氏改名・皇民化教育）。